

2026年3月8日 発行

第33号

工務部会
こうむ
NEWS

J R東労組(東日本旅客鉄道労働組合)
工務部会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-1
代々木総合事務所 5階
NTT 03-5315-0941 JR 058-4112
発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

26春闘満額獲得に向けて 本部檄励に行きました！！

工務部会は、2026 JR総連春闘勝利、ベア定額 18,000 円を満額勝ち取るために第4回常任委員会において「賃金はたたかって勝ち取るものであり、私たちの日々の努力を会社に訴えるべきだ」と確認しました。この思いを JR東労組 本部交渉団へ届けるために、檄紙を取り組み、本部事務所へ檄励に行きました！！



会社はこの間の交渉で「人事・賃金制度見直しにより全社員の職務能力給を1万円以上増額し、給与ベースを引き上げる。他の手当等の平均支給額も増額になることを踏まえて検討する」と述べています。しかし、これは私たちが求めた施策ではなく、施策とベアとは全く別物です。さらに過去最高の営業収益を上げながら「営業利益は25億円の減益。もう一段の増収とコストダウンに向けた努力が必要」と私たちにさらなる努力を求めています。しかし実際は「営業費用は経営判断で大きく変えられる」「必要な修繕費を要求しても、現場に十分に配分されない」「その不足を現場が創意工夫で補っている」というのが実態です。不動産投資などでの影響で営業利益が減益と言われても、設備を保守する私たち現場は納得しがたいという声が多く出されました。社長会見では「コロナ期の影響をすべて取り戻すべく交換・修繕を実施する」と述べていますが、JR本体・パートナー会社・メーカーを含む現場の体力や人手不足の現状を、社長は本当に理解しているのか疑問です。予算をつけただけでは、実際の作業は進まず、現場の負担が増えるだけです。会社は「利益」と「収益」の言葉の違いで誤魔化さず、物価上昇に追いつかない組合員・社員の生活実態を直視すべきです。要求の満額獲得に向け、最後まで奮闘しよう！！

安全で安心して働ける職場を

未来に残すためにも

J R東労組に結集しよう！！

